

建築学科

建築構造・設備実習 2

対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	大池 俊樹			実務 経験	有	職種	構造設計				

授業概要

建物を建てるために必要な構造図面、設備図面の読み方、描き方について習得します。

到達目標

次の3点を到達目標とする。①課題を完成することができる。②クロス張りに関する規則、手順を理解する。③鉄筋の配筋方法、型枠の施工方法について理解する。

授業方法

意匠図、設備図、構造図、及び施工図をもとに講義と実習を中心に講義を進める。各図面を読み解くと同時に施工方法や施工するまでの規則、定められた数値を予め講義によって確認し、講師の実演を見学、実習を1サイクルとして理解度を深める。

成績評価方法

授業態度、平常点、提出物などを総合的に判断する

履修上の注意

授業には集中して取り組み、実習に適した服装で臨むこと。安全のため教員の指示には従い、必要な備品等は必ず持参すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。

教科書教材

なし

回数	授業計画
第1回	設備設計とは①
第2回	設備設計とは②
第3回	構造設計とは

第4回	鉄筋の配筋①
第5回	鉄筋の配筋②
第6回	鉄筋の配筋③
第7回	木造軸組工法とは
第8回	木造軸組模型作成①
第9回	木造軸組模型作成②
第10回	木造在来工法 大壁の作成①
第11回	木造在来工法 大壁の作成②
第12回	木造在来工法 大壁の作成③
第13回	クロス張り①
第14回	クロス張り②
第15回	総まとめ